

六〇七番

皆人みなひとを 寝ねよとの鐘かねは 打うつなれど 君きみをし思おもへ
ば 寝いねかてぬかも

六〇八番

相あひおも思はぬ 人ひとを思おもふは 大おほ寺でらの 餓が鬼きのしりへ後のに 額ぬか
つくごとし

六〇九番

心こころゆも 我あは思おもはずき また更さらに 我わが故郷ふるさとに
帰かえり来こむとは

六一〇番

近ちかくあれば 見みねどもあるを いや遠とほに 君きみがい
まさば ありかつましじ